

2024年4月5日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

## 国産脆弱性診断・ASM ツール『GMO サイバー攻撃 ネット de 診断』 機能拡張で「FortiGate」の脆弱性診断が可能に

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、2024年4月1日（月）より、自動脆弱性診断・ASM<sup>(※1)</sup> ツール「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」の診断機能を拡張し、アメリカの統合脅威管理（UTM）<sup>(※2)</sup> の開発メーカー・フォーティネット社が提供する「FortiGate」の脆弱性診断に対応しました。



(※1) Attack Surface Management：インターネットから アクセス可能な IT 資産の情報を調査し、それらに存在する脆弱性などのリスクを継続的に検出・評価する取り組みです。

(※2) インターネットの危険から保護するため、セキュリティ機能やサービスをネットワーク内の単一のデバイスに統合すること。

### 【VPN の脆弱性による重大インシデント】

「FortiGate」は日本の市場シェア No.1<sup>(※3)</sup> を誇る UTM です。セキュリティ対策として業種を問わず多くの企業が導入しています。ファイアウォールとしての機能はもちろんですが、新型コロナウイルスの流行を契機に日本国内でテレワークの導入が進むにつれて、自宅と社内ネットワークを接続するための VPN<sup>(※4)</sup> として利用される機会も増えました。

VPN 機器の脆弱性や設定ミスを適切に管理していない場合、重大なサイバー攻撃の被害にあう場合があります。2022年に大阪急性期・総合医療センターのランサムウェア感染により電子カルテの暗号化や外来診療や一部の検査などの業務停止を余儀なくされたケースでは、ランサムウェアの侵入口は給食委託事業者の VPN 機器の脆弱性を利用されたものでした。<sup>(※5)</sup>

また 2023 年には名古屋港のコンテナ管理システムがランサムウェアに感染し、約 3 日間にわたってコンテナ搬入搬出が停止し、物流に大きな影響を与えました。このケースでも VPN 機器からの侵入が行われたものと見ることが適切であるとされています。<sup>(※6)</sup>

(※3) 日経 xTECH「ネットワーク機器利用実態調査 2022」

(<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/nnw/18/111600150/111600003/>)

(※4) Virtual Private Network : あるネットワーク内に仮想的に専用のネットワークを構築する技術。

(※5) 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター情報セキュリティインシデント調査委員会 調査報告書

([https://www.gh.opho.jp/pdf/report\\_v01.pdf](https://www.gh.opho.jp/pdf/report_v01.pdf))

(※6) コンテナターミナルにおける情報セキュリティ対策等検討委員会「名古屋港のコンテナターミナルにおけるシステム障害を踏まえ緊急に実施すべき対応策及び情報セキュリティ対策等の推進のための制度的措置について」

(<https://www.mlit.go.jp/kowan/content/001719866.pdf>)

## 【初めての方でも使いやすい国産 ASM 「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」】

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」は、初めての方でも使いやすい国産 ASM ツールです。お客様からいただいた社名やサービス情報をもとに、攻撃面となる可能性がある Web サイトやネットワーク機器を洗い出し、ツールによる定期的なセキュリティ診断を行います。これにより、簡単に自社の IT 資産の棚卸しとサイバー攻撃リスクの可視化を行うことができます。

診断機能のアップデートを行い、拡大する VPN 機器に関する脆弱性管理のニーズに対応いたしました。

### ■ 自動定期診断とアラート通知機能で「FortiGate」に潜在する脆弱性を早期発見

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」では「FortiGate」に関する以下の項目が検出可能です。

#### <診断項目>

- デバイスの検出
- 管理画面(ログインフォーム)
- デフォルトクレデンシャル
- Web コンソールベースの情報漏洩<sup>(※7)</sup>CVE-2018-13379)
- Web コンソールベースのリモートコード実行(RCE) <sup>(※7)</sup>CVE-2022-40684)
- ヒープオーバーフロー<sup>(※7)</sup>CVE-2022-42475)

また FQDN <sup>(※8)</sup> に対して脆弱性を実施するため、「FortiGate」のすべてのモデルを診断できます。一般に公表されている脆弱性（既知の脆弱性）は攻撃者によって悪用される可能性があります。「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」により、定期的な自動診断とアラート通知機能を活用することで、早急な対処が必要となる既知の脆弱性の存在をいち早く知ることができます。

(※7) 共通脆弱性識別子 (Common Vulnerabilities and Exposures) : 脆弱性対策情報の共有を容易にすることを目的として、アメリカ政府の支援を受けた非営利団体の MITRE 社が個別の識別番号 (CVE) を採番している。

(※8) 完全修飾ドメイン名 (Fully Qualified Domain Name) : ホスト名とドメイン名を省略せずに記述した絶対表記のこと。

### ■ 経産省「情報セキュリティサービス基準」に適合 複数のガイドラインに準拠

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」は経済産業省が定める「情報セキュリティサービス基準」に適合しています。また、独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター (IPA) が発行する「安全なウェブサイトの作り方」や、ソフトウェア開発におけるセキュリティ対策を推進する国際的な非営利団体である OWASP が公表している、Web アプリケーション・セキュリティに関する最も重大な 10 のリスク

「OWASP Top 10」、さらにデジタル庁が発行する「政府情報システムにおける 脆弱性診断導入ガイドライン」などの基準・ガイドラインに対応しています。

さらに現在、クレジットカード業界のセキュリティ基準「PCI DSS」に準拠するための脆弱性スキャンを行う資格を有するベンダである「ASV」認定取得準備を進めており、様々な基準やガイドラインに準拠、適応した国産脆弱性診断・ASM ツールとして更なる発展を目指しています。

### 【ASM の一連の流れを体験できるトライアルを実施中！】

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断」では2週間でASMの一連の流れを体験いただけるトライアルを実施しています。トライアル期間内で、自社が保有するWebサイトやネットワーク機器を洗い出し、セキュリティ診断まで実施します。また、診断結果に対して報告会を通じて専門家による助言を受けることが可能です。社内の各部署で次々に立ち上がるWebサイトの脆弱性管理が不安なお客様、全社で保有するVPN機器の診断を行いたいお客様など、ぜひお気軽にお問い合わせください。

サービスの詳細やトライアルのお申し込みは「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断エンタープライズ」のWebサイトよりお問い合わせください。

お問い合わせ先：[https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp\\_enterprise/](https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/)

### 【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「世界のホワイトハッカーの技術力を身近に」を合言葉に国内外のハッキングコンテストやCTFでサイバーセキュリティに関する技術を磨いたホワイトハッカーを中心としてサイバー攻撃対策に関する技術およびサービスを提供するサイバーセキュリティの総合企業です。

以上

#### 【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

マーケティング部広報担当 伊礼

TEL : 03-6276-6045

E-mail : [irei@gmo-cybersecurity.com](mailto:irei@gmo-cybersecurity.com)

●GMO インターネットグループ株式会社

グループコミュニケーション部 広報担当 青柳

TEL : 03-5456-2695 お問い合わせ：<https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

#### 【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL : <https://gmo-cybersecurity.com/>)

会 社 名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事 業 内 容	■Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ペネトレーションテスト ■不正利用(チート)診断 ■IoT 脆弱性診断 ■自動車脆弱性診断 ■フォレンジック調査 ■CSIRT 支援 ■クラウドセキュリティ診断 ■クラウドセキュリティ・アドバイザー
資 本 金	1 億円

**【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)**

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■ インターネットインフラ事業      ■ インターネット広告・メディア事業 ■ インターネット金融事業      ■ 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2024 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.